

医療費助成 すべての子どもが対象に

教育・子育て、在宅介護の苦勞を訴えながら、何度も一般質問や委員会審査でも質問。国保税の問題では、低所得者が多いことから、一般会計からの繰入などを提案し軽減を求めています。

- 子ども医療費を高校生まで無料化、所得制限撤廃
- 国保税の引き下げを要求し、「据え置き」を実現
- 被災者の医療費免除の継続
- 県立高田病院の再建とバス路線拡充、タクシー券事業を改善
- 住宅リフォーム助成の対象拡大



住宅再建が前進、〘祈りの場〙整備

復興では何よりも命と住まいの再建を最優先。日本共産党市議団が提案した市独自の支援制度が利用され、高台移転がとくにこの4年間大きく進みました。

高田松原の国営祈念公園の計画に、藤倉議員が防潮堤の上〘祈りの場〙の整備を提言し、整備されることに。

本丸公園の防災施設整備と、まちなかの慰霊施設も提案。

- 市独自の住宅再建支援を国制度に上乘せ
- 共働き世帯などへの市営住宅家賃の大幅軽減(被災地初)
- 津波伝承館の隣に〘祈りの場〙設置を提言し、実現



9月22日オープン津波伝承館・道の駅

にぎわい・生業への支援

働く現場の人たちの声を市政に届け、若者が希望をもち、地元業者や農・林・漁業者への支援を提案し実現に。

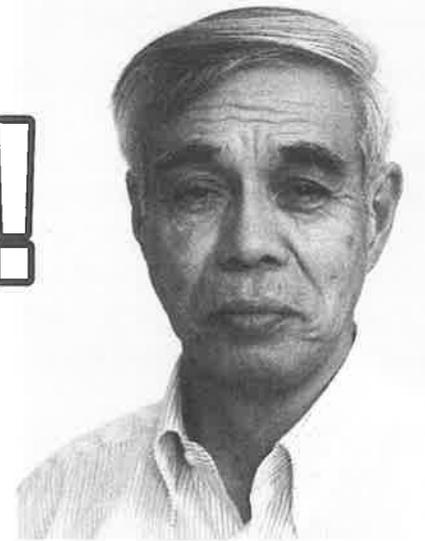
- 道の駅(津波伝承館併設)の完成でにぎわい創出
- 中小企業庁と交渉し仮設店舗期限延長
- リンゴ園の造成等、共済掛け金への補助
- 貝毒検査費用への助成実現
- 漁業の担い手育成(年240万円補助)、林業の地域協力隊への支援を継続
- 市内定住を条件に奨学金を返済免除

—藤倉たいじ議員の活動と実績—

立て直した
財政を活かし

市民の切実な願いを**実現!**

日本共産党



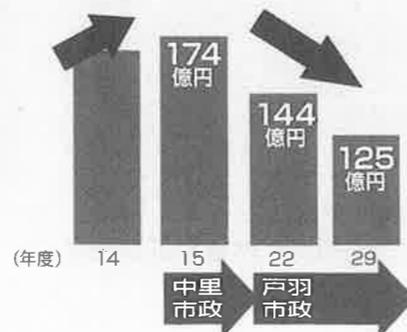
藤倉たいじ議員

破たん寸前の財政を立て直した中里・戸羽市政

16年前、破たん寸前だった市財政を立て直してきたのが中里長門市政、戸羽太市政です。議会では藤倉議員が一貫して財政状況をチェックし、現在は当時と比べ借金が激減(右グラフ)。実質公債費比率も県内最悪の21.4%から14.2%に改善しました。議会で市当局も「(市の財政状況は)心配がない」と答弁するまでになりました。

※財政健全化については、ウラ面もご覧ください。

借金を50億円削減!



地域課題——住民と力合わせて実現に

- 上水道の未整備地域の自家給水設備補助制度
矢作町の住民と運動し8割補助が実現。現在、矢作、横田、米崎町の30世帯で利用されています。



- 集団移転の宅地取得へ補助

防災集団移転の際、移転先の分譲価格が被災跡地の2倍3倍。関係住民と一緒に市長に要望。価格差に市補助、賃貸料の選択も可能に。

- 気仙川の詔石(あつらえし)橋が災害復旧で復活へ

矢作・気仙町と高田町を結ぶ市道詔石橋が津波で全壊。当初、復旧の対象外でしたが、地域住民と運動。市も国とかけ合って、災害復旧事業の対象となり、工事が進んでいます。